



歌の宅配などユニークな活動を地域ぐるみで推進

志布志市

ボランティアグループ 「なかよし」



平成6年、当時の有明町社会福祉協議会が開催した「ボランティア育成講座」の修了生25名が、ボランティア活動で地域に貢献することを目的にボランティアグループ「なかよし」を結成し、現在89名が7校区で活動しています。特に、年越しそばづくり、ふれあいサロン、歌の宅配便、絵手紙年賀状、などユニークな地域福祉活動を展開し、市民から高い評価を得ております。

■年末年越しそばづくり

70歳以上の1人暮らしの高齢者が年末を楽しく過ごし、新年を迎えていただくために、校区青少年館の調理室で「年越しそば」を会員が調理し、民生委員の協力で12月29日と30日に高齢者宅へ届けられます。この活動は、15年目を迎え恒例の行事として定着しており、手作りそばを楽しみに待っておられます。



そばづくり

■高齢者ふれあいサロン

「ふれあいサロン」は高齢者の社会参加や病気予防などを目的に県内各地で実施されています。ボランティアグループ「なかよし」は、7校区に9教室を毎月、自主開設しています。

参加している高齢者から、健康相談や防火防災、交通安全、合唱、ゲーム、健康体操などが学習できて、楽しく、病気が気にならなくななどの声が寄せられています。この活動は10年目を迎え、家族や市民から大変よろこばれています。



伊崎田サロン

■高齢者への歌の宅配

全国的にもユニークな活動として「高齢者への歌の宅配」があります。「ふれあいサロン」に参加できない1人暮らしの高齢者宅にCDラジカセを持ち込み、リクエスト曲に応える活動です。定期的に2人一組で訪問し、曲を聴きながら昔話をする活動で、氷川きよしや北島三郎の演歌系が多く、大変喜ばれている活動の1つです。



歌の宅配：永沼会長

■絵手紙年賀づくり

ボランティアグループ「なかよし」は、会員が多く趣味を生かした活動も積極的に取り組んでおります。「絵手紙年賀づくり」は、平成18年度から取り組んでいる事業で、会員が絵手紙を制作し一人ひとりの高齢者に新年のあいさつを届ける活動で、高齢者からは、新年早々絵手紙の年賀に、「宝物をいただいたような気分」と大事にされておられます。



絵手紙年賀状づくり

活動についての
お問い合わせ先

ボランティアグループ「なかよし」

会長 永沼 順子（志布志市有明町）

志布志市 社会福祉協議会有明支所 TEL099-474-0310